

水稻生産におけるドローン活用検討会を開催

8月11日（火）、坂東普及センター主催により、水稻生産におけるドローン活用検討会を（有）シャリーの現地ほ場で開催しました。当日は、生産者及び関係機関で合計44名が参加しました。

はじめに、普及センターから、（有）シャリーにおけるドローンによる湛水直播栽培について紹介し、移植栽培と比較して、作業にかかる人員と時間を削減できたことを説明しました。SkyFarm 茨城によるドローンの操作実演も行い、参加者は、ドローンが水稻生産の省力化に効果的であることを実感しました。ドローンによる湛水直播栽培の生育は良好で、移植栽培と同等の収量が得られることが期待されます。

なお、水稻の湛水直播栽培で安定収量を得るには、出芽、苗立ちの安定化が必要です。「鉄黒コート種子」（（株）華玉）は、従来の鉄コーティング種子と比較して、コーティング後の発熱がなく、催芽処理した籾にコーティングできます。「鉄黒コート種子」を播種したほ場の生育は良好だったことから、出芽、苗立ちの安定化に効果的と思われました。

次に、普及センターから、「ふくまる」にイネ縞葉枯病抵抗性を付与した「ひたち IL3号」の特性と生育状況について説明しました。「ひたち IL3号」の実証圃の生育は、「ふくまる」と同等でした。

普及センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ、管内の水稻生産の省力化、効率化に向けた取組を支援していきます。

令和2年8月18日 坂東地域農業改良普及センター 四宮 一隆（成長産業）

